

緊急報告

天洋丸司厨部員総下船問題

大正十五年六月十一日

郵司同友會

（一）發端

去ル五月十二日、夜桑港ヨリ横浜ヘ向ケ航行中ノ社船天洋丸ニ於テ安如トシテ一事件ガ惹起サレタリソレハ同船ノコック及ベカー（本會員）ガ船客ノ注文ニ依リ材料ヲ取り出ス為メ、再三一等機関士ニ閣下ヲ依頼シタトコロ何故カ彼ハセテ拒ミ、加エ暴言ヲ吐キ、遂ニベカー助手ヲ殴打シタルモノ、遂ニベカー助手ハ度々ノ屈辱ト、痛烈ナル侮辱ニ堪ヘ兼テ、彼ノ一艇手ニ對シテ品奮ノアリ應酬シタ。折柄、現場ヲ通りカ、ルノ同僚七名（料理人、ベカー）ガ、一機ニ鬱積ヲ爆發サシタ事デアル。

（二）ソノ真因

腕力ヲ振テ事ハヨク無ク、何時如何ナル場所デモ、之ハ断ジテ譲ルムベキデアル。シカシオカラ、此ノ事件、真相ヲ觀ルトキ、吾等ハ其起ニ起ルベキニツノ原因ガ存在スル事ヲ見逃スコトガ出来ヌ。即チ（一）一等機関士ノ行動、ニハカ、ル不詳事ヲ釀成スル制度ニアルト思フ。

（三）當面ノ対策

許ハ前ニモドルガ、コノ八名ト司厨部員ニ関シテ、同船々長ハ、自己ノ首ヲ懸ケテモ、郵船ヲ永久ニ放逐スル事ヲ揚言シ且ツ、ソノ処置ヲ會社ニ迫ツタ。之ニ對シ、同船事務長及其他當面ノ責任者ハ、前途アル者ニ對スル機密ナル處置ヲラシ事ヲ希ヒ、且ツ、一徹、船長等ニ對シ、部下ニ代ワテ謝罪シタ。

一方、日本士協會ハ八名全部ノ放逐ヲ迫ツテキルトノカ、ハサマリ。水川事務監督ハ進退ヲ措シテ善処セン事ヲ決心シタト傳ハラレル。